

インボイスの悩み・不安・疑問は民商に相談を 会外にも「困り事の相談は民商へ」と声かけを



長岡版

発行編集
長岡民主商工会
長岡市中沢167-1
☎ 33-5948

2023年
11月6日
第2171号

インボイス制度は廃止を
消費税は5%に減税を
大軍拡・大増税をやめよ
税務相談停止命令制度は
廃止を

インボイス制度の導入から1ヶ月が経過しました。長岡民商には現在も「取引先からインボイスを求められている。インボイス発行事業者になるべきか、それとも、免税事業者のままでもいいか」「インボイスを発行しないことを販売先に伝えたら、取引がなくなつた」「インボイス実施を機に廃業することも考えた」など、悩みや不安の声が寄せられています。

先日開催された地方別会長・事務局長会議（下段参照）では、インボイスについて次のような問題が報告されました。

- (a) インボイス登録をしていないことを理由に、取引先から「仕事を発注しない」「代金の10%をカットする」など、優越的地位を乱用した通告を受ける事例が相次いでいる。
- (b) インボイスを発行しない小売店・飲食店が、来店した客にインボイスを要求された。「発行していない」と答えたら、10%の値引きを求められた。
- (c) 新聞拡張やポスティングのアルバイトをしている高齢者までもが「インボイス登録をしなれば、委託料を10%カットする」と通告されている。

全商連は10月13日、国税庁に対してこれらの問題を示し、インボイスの廃止と緊急の対策を要求しました。

- このうち、(b)の問題については、長岡版10月2日号・同9日号などに掲載したように、
 - ①あらかじめ「当店でインボイスを発行していない」ことを伝える。
 - ②「当店はインボイスの発行をいたしかねます」などと記し、店内に目立つように（視認しやすいところに）掲示する。
- などの対策をすることで、トラブルを回避できることもあります。

インボイスの悩みや不安、疑問は民商にご相談ください。会外の事業者にも「困り事の相談は民商へ」と声をかけてください。そのひとは人助けにも、仲間増やしにもつな

地方別会長・事務局長会議に参加

10月22日、全商連の主催により全国7会場で地方別会長・事務局長会議が開催されました。新潟県連は北関東・信越ブロックに区分けされており、長岡民商からは酒井光男会長と金内事務局長が埼玉県で行われた会議に参加しました。

会議の目的は、中小・小規模事業者の要求を実現するための運動と強大な民商を築くための取り組みを一体に推進し、会員増勢とするための意思統一を図ることです。

午前は各会場をインターネットで結び、講演、報告と問題提起がなされました。



午後、会場ごとに行われた分散会では、各民商がインボイスへの対応や会員増やしなどの取り組みを紹介、今後の運動について討議しました。最後にまとめ集会が開かれ、6県連の代表者が発言、報告を行いました。

物価高騰の中、政府は増税であるインボイスの実施を強行しました。さらに、大軍拡のための大増税が狙われています。社会保障は削られる一方であり、格差が拡大しています。悪政に立ち向かうため、仲間を増やしましょう。お知り合いや業者仲間のご紹介を、よろしく願います。

まだ間に合います！大腸がん検診

長岡民商共済会は11月12日(日)・13日(月)に大腸がん検診を行います。受検料は606円、(税込)、共済会員は無料です。

大腸がんは早期に治療を行います。よって、早期発見が重要です。ぜひ受検しましょう。

